

支援一体型、生きるチカラ再生事業「ハイリスク回避プログラム開発」

特定非営利活動法人BONDプロジェクト

- 目 的** 学校の授業等で使用できるハイリスク回避プログラムを開発します。
- 事業内容** 有識者による委員会を組織し、当法人が関わってきた自殺念慮を抱えた若年世代女性にも対応できるハイリスク回避プログラムを開発します。対象は、中学生から高校生とし、授業でも活用できるプログラムです。
- 背 景** 昨年度 BOND プロジェクトでは、10 代を中心とする若年世代女性を対象とした自殺念慮調査を実施しました。
- その結果、次のような実態がわかりました。
- ・居場所が無いと感じている人は約 5 人に 1 人います。
 - ・自傷行為をしたことがある人は約 3 人に 1 人います。
 - ・援助交際をしたことがある人は約 10 人に 1 人います。
 - ・幸福度が高い人でも約 3 人に 2 人が悩みやストレスを抱えて生きています。
 - ・自殺念慮を抱いた人は約 3 人に 2 人います。
- このデータは、心に闇を抱えている人ではなく、普通に街を歩いている女の子たちのデータです。これほどにも「死にたい」「消えたい」と感じる若年世代の女性が多い現実に向き合いました。
- そして、彼女たちをはじめとした若年層に生きるチカラを与える方法として、今年度「ハイリスク回避プログラム」の開発に取り組んでいます。
- 経 過** 現在、有識者 5 人による委員会を結成し、中学生、高校生に伝えるこのプログラムを開発しています。自尊感情を向上し、「生きてていいんだ」「ありのままの自分でいいんだ」という自己肯定感を持てるプログラムを目指しています。
- 内 容** 内容については、現在精査中ですが、そのひとつを紹介します。
- 「ハッピースマイルチェック」(ワーク) 約 50 分
- ① 自分が嬉しいこと、楽しいことを書き出してもらいます。
どんな小さいことでも、顔がニヤッとなることでもいいのです。
 - ② 素敵な自分だけの幸せを見つけてみましょう。
 - ③ 約 3 分で書き上げたものを生徒に発表してもらいます。
 - ④ 講師は、生徒の発表を肯定的に受け止めてあげます。
 - ⑤ 数人の発表の後、幸せは身近にある事を生徒に伝えます。

※最初は当法人のスタッフが学校に出向いてプログラムを実施します。いずれ、学校の人権教育の授業や、青少年支援団体や女性支援団体の活動に取り入れてもらえるよう働きかけていきます。